

症例 77才男性

《生活歴》

茨木市にて、同胞2女1男末子として出生した。元来社交的な性格で友達も多かった。大学卒業後、大阪の企業に営業職として勤務。30才時結婚し、1男1女を設けた。釣りが趣味で休日には車を運転し家族で奈良まで川釣りに行ったりしていた。仕事柄、時間が不規則で飲酒などの機会も多かった。子供が独立後は、妻と二人暮らし。子供たちは二人とも茨木市内に家庭を持ち住んでいる。65才で定年後は、地域の小学生の見守りボランティアや、一人で電車に乗って定期的に木工クラブにも行っていた。夫婦仲は良い。

《既往歴》

高血圧	45才から
糖尿病	50才から
慢性胃炎	70才から

《現病歴》

72才頃から特に誘因なく活気が乏しくなり外出せず家にいることが多くなった。高血圧と糖尿病の治療のため一ヶ月に一度近くのかかりつけ医にかかっていたが、予約日に来ないことも見られるようになったため、心配したかかりつけ医が精神科クリニックに紹介、不眠・食欲不振・抑うつ症状あり、うつ病の診断にて抗うつ薬と睡眠導入剤開始された。3か月後から症状は軽減し、73才時にはまた外に出るようになり町内会の仕事なども引き受けるようになった。

しばらくは安定していたが、74才から次第に飲酒量が増えてきていた。飲酒後に階段を踏み外し転倒、頭部打撲し救急搬送されたことがあったがCTでは特に異常なく、入院せずに帰宅した。その後は妻や子供たちが飲酒は控えるように注意していた。

76才頃より日にちの言い間違いや、同じことを繰り返し尋ねることも増えた。身の回りの事は問題なく出来るが、銀行のATMでお金を振り込んだりするのに手間取るようになった。道に迷ったりすることはないが趣味の木工クラブにも行かなくなった。最近では妻が夕方に買い物から帰ってくると、電気も点けずに居間でぼんやりしていることが何回か見られるようになった。昼は散歩したり庭いじりをしたりしているが、夕方から夜にかけてイライラすることもあり、「居間に男の子が座っていた」と言うこともあった。尿失禁もあり、足取りもいつもとは違って足のむくみも見られてきたため家族が心配して、かかりつけ医に相談し物忘れ外来受診となった。

《内服薬》

ガスター	10mg	1錠	
アムロジピン	5mg	1錠	
トラゼンタ	5mg	1錠	朝食後
デパス	1mg	1錠	寝る前

- どのような見立てができるか

- どのような情報をもっと必要か

自分なりに考えてみてください

・ ケースから「生活障害」と思われるものを抜き出してください

・ 評価するためにもっと必要な情報を考えてみてください

・ ケースから「認知機能障害」と思われるものを抜き出してください

・ 評価するためにもっと必要な情報を考えてみてください



・ ケースから「精神症状」と思われるものを抜き出してください

・ 評価するためにもっと必要な情報を考えてみてください

・ ケースから「改善可能なもの」を検討してください

・ 評価するためにもっと必要な情報を考えてみてください



